

誰もが「かがやく笑顔の主人公」

T.R.S design 代表 永見 保



ここで何する…ここでやる。2006年に活動拠点を大阪から加古川に移し、ふと気づいたこと。世はまさにインターネット時代。場所を選ばずリモートで普通に仕事ができる。パソコンに向かって表現する我々のような職業は、それが日常であり「ネットが繋がる！」それが生命線。場所を選ばず、どこでも仕事ができ、移動以外は距離感も無くなっていた。

しかし、ひとのニーズが違っていた。そこには土地〜

住所: 加古川市加古川町大野373-7
TEL: 079-424-9024
営業内容: グラフィック全般、WEB企画制作
ブランディング構築、サイン各種デザイン



の需要と供給があり、我々のようなイメージを具現化する者はまさに、ここで何をしたら…(汗)

ひとと出会い、自問自答を繰り返す中で、ひとにはそれぞれ良いところがあり、キラリと光る何かを誰しも持っている。出会いの中で地域の人たちの笑顔を「キラリかこがわ」のサイトにアップすれば喜ばれた。日常の一言を切り取って喜ばれるのなら、このひとたち一人ひとりが、「笑顔の主人公」ではないか。市民参加型地域ポータルサイトキラリかこがわの企画「27万人の笑顔」プロジェクトができたのは、そんな想いがきっかけだった。

やがてSNSが出てくると、誰もが自身の日常を公開し、映えるのが一般的にも使われる言葉として定着してきた。リアルタイムに情報が得られる時代だからこそ、反応も見えて取れる。しかし、「27万人の笑顔」カレンダーを毎年、公共施設やご支援くださる皆様に配布していき気づいたことがある。それは、インターネットで見る写真と、印刷されて紙で手元に残る写真とでは、世代によっても反応は異なり一つのカレンダーがいろんな人の手を介して、本人に届けられていることもリアルに知らされることだ。

お孫さんが写っているからおばあ

ちゃんが「一枚わけてもらわれへんやろか」…、秋祭りの自身の勇姿がカレンダーに写っていると友人からラインを受けとり、掲載紙はどのようなようにしたら手に入るのかと本人から事務所に電話があったり…、飲食店に貼ってあったカレンダーに自身が写っていて驚いたイベント会場で、直接本人から、はちきれんばかりの笑顔で言われたり…、それを目の当たりにすると、キラカコとして、その瞬間キラリがここにあることを実感する。過去の活動では知りえないことを、地域をめぐることで知り、ひとは笑顔に力をもらい、ひとの笑顔には心を動かす力がある。

ここ数年、笑っていられないことが幾つもおきて、笑ってる場合か?という自粛の空気も、塞込む気持ち少しは和らいで「上を向いて笑って」いれば、一歩ずつでも前に進めるんじゃないかと、ここにおいて、人と出会う中で、キラリを見つけ、キラリはここにあることをこれからも伝えていきたい。



現在、掲示中の27万人の笑顔カレンダー
(笑顔参加者28,516人:2022年7月現在)